

ラウンドアバウト サミット

ROUNDAABOUT SUMMIT

in 焼津

ラウンドアバウトを活用した
「安全・安心で魅力的なまちづくり」



焼津市公認マスコットキャラクター
「やいちゃん」

日時

平成 26 年 11 月 6 日 (木)

13:15~17:15 (12:45 開場)

会場

焼津文化会館 大ホール (焼津市三ヶ名 1550)

現地視察

11 月 7 日 (金) 9:00~

講演

● 環状交差点に係る道路交通法改正について

警察庁交通局交通規制課 課長補佐

植竹昌人氏

● ラウンドアバウトについて

国土交通省道路局環境安全課 道路交通安全対策室 課長補佐

竹下卓宏氏

パネルディスカッション

● ラウンドアバウトを活用した

「安全・安心で魅力的なまちづくり」

コーディネーター 下川 澄雄氏 (日本大学理工学部
交通システム工学科 教授)

パネリスト 岩貞るみこ氏 (モータージャーナリスト・
ノンフィクション作家)

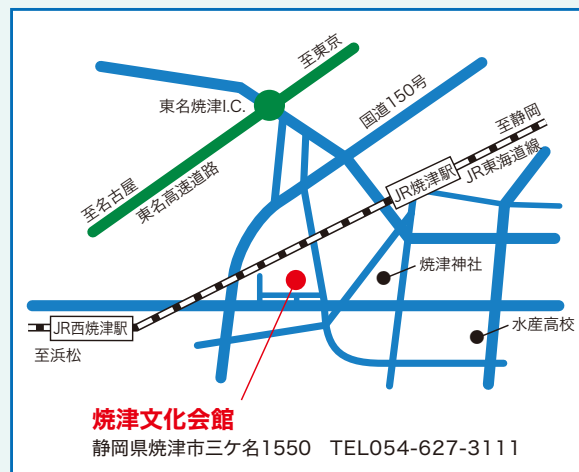
大庭 孝之氏 (国土交通省
中部地方整備局道路部長)

中村 英樹氏 (名古屋大学大学院環境学研究科
都市環境学専攻 教授)

中野 弘道 (焼津市長)

スケジュール

11 / 6 (木)	12:45	開場
	13:15	開演挨拶・講演・基調報告・パネルディスカッション
	17:30	交流会
11 / 7 (金)	9:00	現地視察



主催：ラウンドアバウト普及促進協議会

(安曇野市・飯田市・小山町・軽井沢町・須坂市・守山市・焼津市・矢吹町)

後援：警察庁、国土交通省、静岡県、(公財)国際交通安全学会、(一社)建設コンサルタンツ協会

申込み・問い合わせ

焼津市都市基盤部 道路課

TEL 054-626-2174

開催趣旨

欧米などで交通事故の減少などの導入効果が報告されているラウンドアバウトは、平成 26 年 9 月 1 日に道路交通法の改正により、日本でも環状交差点として位置づけられ、今後の本格的な整備が期待されるところであります。

このようなことから、趣旨に賛同する全国の市町が結束し、様々な知見を持つ学識経験者の方々と整備事例、課題、効果の共有を図りながら、その有効性の発信を行うことを目的として開催するものです。当日は講演やパネルディスカッション、交流会、現地視察などを予定しておりますので、市民をはじめ全国の行政関係者の方々に幅広く参加していただくことを期待しております。



© ランナバちゃん

講師



警察庁 交通局 交通規制課
課長補佐 (警視)

う え た け ま さ と
植 竹 昌 人 氏

東京都生まれ
1984 年千葉県警察官拝命
千葉県警察我孫子警察署、交通規制課、免許課などで勤務のほか、知事部局交通安全対策課、在モンゴル及び在英日本大使館、警察庁外事課勤務を経て、2014 年 2 月より現職



国土交通省 道路局 環境安全課
道路交通安全対策室 課長補佐

た け し た た か ひ ろ
竹 下 卓 宏 氏

熊本県生まれ
1987 年建設省 (現国土交通省) 入省
九州地方整備局道路部、企画部、福岡国道事務所、佐賀国道事務所、沖縄開発庁沖縄総合事務局を経て 2014 年 9 月より現職

コーディネーター



日本大学 理工学部
交通システム工学科 教授

し も か わ す み お
下 川 澄 雄 氏

長野市生まれ。1984 年 3 月に日本大学大学院理工学研究科交通土木工学専攻修了し、(一財) 国土技術研究センター、静岡県土木部道路建設課、(一財) 国土技術研究センター ITS 企画推進室次長、道路政策グループ首席研究員などを経て、2012 年 4 月日本大学理工学部交通システム工学科教授となり、現在に至る。

博士 (工学)、専門は交通計画、道路工学。

(公財) 国際交通安全学会 (IATSS) のラウンドアバウトの社会実装と普及促進に関する研究プロジェクト・メンバー、静岡県ラウンドアバウト検討委員会・メンバー。

パネリスト



モータージャーナリスト
ノンフィクション作家

い わ さ だ
岩 貞 る み こ 氏

(公財) 国際交通安全学会 (IATSS) 会員

女性誌や一般誌、ラジオなどで活動。イタリア在住経験があり、グローバルなユーザー視点から行政に対し積極的に発言を行っている。救急医療を通じて車両の安全性を取材する一方、近年は児童書を執筆し、子供たちに命の尊さを伝える活動を行っている。

著書

「東京消防庁 芝消防署 24 時」「救命救急フライトドクター」「青い鳥文庫ができるまで」「しっぽをなくしたイルカ」「ハチ公物語」ほか多数 (すべて講談社)



国土交通省
中部地方整備局 道路部長

お お ば た か ゆ き
大 庭 孝 之 氏

1988 年東京大学大学院工学系研究科修了。同年建設省 (現国土交通省) 入省。1995 年ノースウェスタン大学大学院修了。総合政策局国際建設 (推進) 室国際建設技術企画官、道路局道路交通管理課 ITS 推進室長、奈良県県土マネジメント部長を経て、2014 年 4 月より現職。

中部の道路行政を総括。道路ネットワークの整備をすすめるとともに、自治体と連携したメンテナンスサイクルの確立、南海トラフ地震への対策を推進。交通工学が専門で、情報関係や国際業務の経験も豊富。



名古屋大学大学院 環境学研究科
都市環境学専攻 教授

な か む ら ひ で の り
中 村 英 樹 氏

東京都生まれ。1991 年、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。建設省土木研究所主任研究員を経て、1996 年、名古屋大学大学院工学研究科助教授、2007 年、同・教授、2014 年現職。ドイツ・ダルムシュタット工科大学での研究滞在から帰国した 2002 年より、日本におけるラウンドアバウトの適用に関する研究に着手。ラウンドアバウト普及促進協議会顧問。国土交通省道路局ラウンドアバウト検討委員会委員、警察庁交通局「信号機設置の指針」に関する検討委員会委員など。2009 年より、(公財) 国際交通安全学会 (IATSS) のラウンドアバウトの実用展開に関する研究プロジェクト・リーダー。



焼津市長

な か の ひ ろ み ち
中 野 弘 道 氏

2012 年 12 月 24 日から現職。「手をつなぎ創る未来のまちづくり」の実現に向け「安心安全なまちづくり」「子育て・福祉の充実」「にぎわいのまちづくり」「市民目線での行政改革」の 4 つを目標に市政運営を行っている。安心安全な第一歩として、交通事故の減少を目指し、様々な施策に積極的に取り組んでいる。2013 年 8 月、いち早くラウンドアバウトの有効性に着目し、ラウンドアバウト社会実験に取り組む。2014 年有識者を招きラウンドアバウト研究会を立ち上げ、焼津市内の交差点におけるラウンドアバウト導入の可能性について検討している。

サミット参加申込書

申込期限：平成 26 年 10 月 31 日 (金) まで FAX 054-626-2190

お 名 前				参 加 人 数	人 (代表者含む)
ご 所 属					
ご 住 所				電 話 番 号	
E - m a i l				FAX 番 号	
参 加 内 容	☐ 講演、基調報告、パネルディスカッション ☐ 交流会 ☐ 現地視察				

申込み頂いた方に改めてご案内を致します。なお、資料代、交流会費を頂くことを予定しております。